

問題 E

問 1 食事の際の以下の問題点のうち、舌の運動機能低下が原因と考えられるものを選びなさい。

1. 食事に関心がない
2. 食事を口腔内に入れる事が難しい
3. 口唇からこぼれる
4. スプーン、箸などの保持が困難
5. 口蓋に食物残渣がある

問 2 咽頭機能は残存しているが、口腔への貯めこみや、舌下部へ食塊が溜まるなどの症状がある場合の食事介助方法として正しくないものを選びなさい。

1. 一口量を多くする
2. 固形物を避け、なるべく液体に近い形の食事形態を選択する
3. 体幹を後方へ倒した状態で食べてもらう
4. しっかりした味付けにする
5. スプーン等で舌を刺激しながら食事介助をおこなう

問 3 食事の際に時々ムセが出る場合の対処法として正しいものを選びなさい。

1. 嚥下直後にちゃんと飲み込めたか聞き、返事を促す
2. 水分には硬めにトロミをつける
3. 食事形態をミキサー食にする
4. 食事の前に嚥下体操や口腔ケアをおこなう
5. 経管栄養を選択する

問 4 食事介助に関する次の記述のうち、適切でないものを選びなさい。

1. 刻み食が必要な場合でも、刻む前の食べ物の状態を見てもらう
2. 食事の前後には、義歯の有無を確認する
3. 片麻痺のある人には、口の麻痺側にスプーンを入れる
4. 一口ごとに、口の中に食べ物が残っていないか確認する

問 5 食事の介助に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを選びなさい。

- A. 生卵、こんにゃくは誤嚥しにくい
- B. 利用者の目線より高い位置からの食事介助は、誤嚥しやすい状態をつくる
- C. 食欲が低下している原因の一つとして、義歯の不具合がある
- D. 食事時のいすは、踵(かかと)が床に着く高さで、テーブルは肘(ひじ)が楽における程度の高さがよい

(組み合わせ)

- 1 A→○ B→○ C→× D→×
- 2 A→○ B→× C→○ D→×
- 3 A→○ B→× C→× D→○
- 4 A→× B→○ C→○ D→○
- 5 A→× B→× C→○ D→○

問題 E

- 問 6 ゼラチンゼリーの特徴について間違っているものを選びなさい。
1. 滑りが良く口腔や咽頭に残留しにくい
 2. 温度による影響を受けやすい
 3. 口腔内の保持時間が長いと液体になる
 4. 加熱処理が必要
 5. 温かい物、冷たい物両方に利用可能
- 問 7 嚥下機能が低下している人の食事介助として、適切なものを選びなさい。
1. 飲み込むときは頭部を後ろに傾ける
 2. スプーンの一口量を多くする
 3. 食べ物は口腔の奥に入れる
 4. 咀嚼しているときに、次に食べるものを説明する
 5. 食べ物を口に入れたら、口を閉じるように声かけをする
- 問 8 食事とその介助について適切なものを選びなさい。
1. カステラは嚥下障害のある患者には摂取しやすい食べ物である
 2. 嚥下障害は誤嚥を起こすことにより、誤嚥性肺炎の原因となる
 3. 食事をとる姿勢は、できるだけ座位にして頭部を後屈させる
 4. 嚥下食は脱水や便秘を起こしにくい
- 問 9 口腔ケアについて適切でないものを選びなさい。
1. 口腔内の清掃は、化学的清掃より機械的清掃法が効果的である
 2. 口腔ケアの目的は、口腔機能の保持により要介護者のQOLとADLの維持、向上を図ることである
 3. 総義歯を装着している場合、歯がないので口腔内の清掃の必要はない
 4. 経管栄養の場合、唾液分泌の減少による自浄作用の低下のため、口腔内は不衛生になりやすい
- 問 10 口腔ケアをおこなうことで期待できる効果について間違っている物を選びなさい。
1. 口腔内がきれいになる
 2. 唾液分泌が促される
 3. 口腔器官の動きがよくなる
 4. サブスタンスPが減少する
 5. 嚥下反射潜時の短縮
- 問 11 意識レベルの低下した片麻痺患者のケアを在宅で実施する家族への説明で正しいものを選びなさい。
1. 「舌苔には触れないでください」
 2. 「口腔ケアは肺炎の予防になります」
 3. 「入れ歯は装着したままで良いです」
 4. 「麻痺側を下にした横向きで口腔ケアをしましょう」

問題 E

問 12 次のうち高齢者の口腔ケアの目的として、間違っているものを選びなさい。

1. 唾液の分泌の抑制
2. 口臭の改善
3. 誤嚥性肺炎の予防
4. 歯周病の予防
5. 食欲の増進

問 13 口腔ケアの手技として正しいものを選びなさい。

1. 歯ブラシは手前から奥へと動かす
2. 剥離上皮の付着がある場合には、しっかりこすってきれいにする
3. 開口保持が困難な場合には、開口器等を用いて口腔ケアを実施しなければならない
4. 歯面に付着した歯垢は、ガーゼでしっかり擦ることで除去できる
5. 口腔内が乾燥している場合には、保湿剤や水分で粘膜を十分潤してから口腔ケアを実施する